

第6学年 外国語活動学習指導案

指導者 小林 恵

ALT SarahWilczynski

1 単元名 Lesson 8 What do you want to be ?

2 単元について

本単元は、2年間の外国語活動のまとめとして「将来の夢」を題材にしている。本単元の最後には、これまでの外国語活動の学習を生かして、各児童が将来どのような職業につきたいかを発表する「夢宣言」という活動を設定しているが、単に将来の夢を発表させるのではなく、自分の将来を真剣に考え、どのようなことをことがしたいのか、どのような職業につきたいのか、またそれはなぜかなどを考えることで、未来に希望をはせながら「夢宣言」をさせたい。さらに、お互いの発表を聞き合い意見を交換することで、言語活動の充実も目指していきたい。

第5学年では「あいさつ」「自己紹介」「日常生活」など、身近な話題に関してのやり取りを通して友だちとの関わりを深めながら、外国語を使ったコミュニケーション活動に取り組んできた。第6学年では第5学年での経験をもとに、世界へのつながりや広がりに関する活動へと発展させていきたい。「世界の子どもたちの生活」「夢」を扱うことで児童の視野を世界へと広げながら、自分自身の夢にも興味をもたせていきたい。

外国語を初めて学習する段階であることも踏まえ、ジェスチャーや表情などを加えて話すことでも、自分の思いをより正確に伝えたりすることができることにも触れ、コミュニケーションを図る楽しさを体験させるようにしていきたい。また、外国語を用いた交流活動を行っていくことで、外国人とコミュニケーションを図る楽しさを体得させるとともに、中学校英語に向けてのコミュニケーション能力の素地を作ることにもつなげていきたいと考えている。

<金銭教育に関わって>

本単元において、自分の長所や短所を考え将来つきたい職業に興味をもつことや、その実現に向け努力する態度を育成することは、金融教育の「キャリア教育に関する分野」の目標の「働く意義と職業選択」と関係している。また、世界の子どもたちのおかれている環境や生活、将来の夢を知りながら、働くことの大切さや、働くことによって得る収入の大切さについて考えさせることは、「生きる意欲と活力」「社会への感謝と貢献」に関係している。

それらのことを踏まえ、本単元では「ひと・こと」とのつながりの大切さを学ばせながら、単に将来の夢を発表させるのではなく、自分の将来を真剣に考え、どのようなことがしたいのか、どのような職業につきたいのか、またそれはなぜかなどを考えることで、未来に希望をはせながら「夢宣言」をさせたい。そして生活を支えてくれる様々な対象（人・社会・環境など）に感謝の気持ちをもつ機会にもしていきたい。

<児童の実態>

男子23名，女子12名，計35名の学級である。男女の仲がよく，休み時間など活発に遊んでいる様子が見られる。いろいろなことに興味を持ち，集中して努力することができる。最上級生として，学校の中での活躍も見られるようになっている。学習に対する意欲は高くなってきている。また話を聞く態度・ノートを取り方など，学習中のマナーも身につつつある。友だち同士での教え合いが日頃の学習の中でもごく自然に見られ，協力しながら問題を解決していこうとする気持ちが強い。

外国語活動の時間も，積極的に発言したり友だちとゲームを楽しんだりする様子が見られ，外国語活動への興味・関心が高い。自分の夢を，これまで身につけてきた英語でスピーチすることには多少の戸惑いもあるかと思われるが，児童が意欲をもって学習に取り組んでいけるように，既習内容をふり返ったり，ジェスチャーや表情などを取り入れるなどの工夫があることにも触れるなどの支援をしていきたい。

「将来の夢」については全員が持っている。また，その夢を実現するために，努力や工夫をしようとする態度を持って，前向きに生活している児童もいる。一方で，夢はあるが，その理由が「何となく。」であったり，「自分の楽しみ（趣味）のためだけ。」であったりする児童もいて，働くことが社会とつながることであると意識している児童は少ない。また，夢の実現のためには多くの支え（人・社会・環境など）が必要なことに気づいている児童も少ないのではないかと思われる。

3 単元の目標

○積極的に自分の将来の夢について交流しようとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○どのような職業につきたいかをたずねたり，答えたりする表現に慣れ親しむ。

【外国語への慣れ親しみ】

○世界にはさまざまな夢を持つ同年代の子どもがいることを知り，英語と日本語での職業を表す語の成り立ちを通して，言葉のおもしろさに気づく。

【言語や文化に関する気付き】

4 指導計画と評価計画（全5時間）

時	目 標・活 動	評 価			
		コ	慣	気	
1	さまざまな職業の言い方を知る。 授業の最後に夢宣言をすることについて確認する。 ・「ジェスチャークイズ」 ・「ビンゴゲーム」 ・「ポインティングゲーム」 ・世界の友だち Part 1			○	・世界にはさまざまな夢をもつ同年代の子どもがいることに気づいている。<行動観察>

2	<p>さまざまな職業の言い方に慣れ親しみ、職業を表す語について英語と日本語の共通点に気づく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「カード取りゲーム」 ・[L]「だれの夢か、考えよう。」 ・[C]「What do you want to be ?」 ・「ミッシングゲーム」 ・世界の友だち Part 2 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・職業を表す語を聞いたり言ったりしている。＜行動観察＞ ・職業を表す語を聞いたり言ったりしている。＜行動観察＞ ・職業を表す語について英語と日本語の共通点に気づいている。＜行動観察＞ ・世界にはさまざまな夢をもつ同年代の子どもがいることに気づいている。＜行動観察＞
3	<p>つきたい職業について、たずねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[C]「What do you want to be ?」 ・「チェンゲーム」 ・[P]「友だちに夢についてインタビューしよう。」 ・世界の友だち Part 3 	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・つきたい職業についてたずねたり答えたりしている。＜行動観察＞ ・つきたい職業についてたずねたり答えたりしている。＜行動観察＞ ・世界にはさまざまな夢をもつ同年代の子どもがいることに気づいている。＜行動観察＞
4	<p>表現の工夫を考えながら「夢宣言」の準備をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「夢宣言」の準備をしよう。 	○		<ul style="list-style-type: none"> ・ALT と積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。＜行動観察＞
5	<p>世界にはさまざまな夢をもつ同年代の子どもがいることに気づき、相手意識を持って自分の夢を紹介することができる。(本時)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[C]「What do you want to be ?」 ・世界の友だち Part 4 		○	<ul style="list-style-type: none"> ・世界にはさまざまな夢をもつ同年代の子どもがいることに気づいてい

	○	る。＜行動観察・ワークシート＞ ・相手意識をもって自分の夢を紹介している。＜行動観察＞
--	---	--

5 本時の学習

(1) 日時 平成26年11月13日(木) 5校時(13:00～13:45)

(2) 場所 6年教室

(3) 目標 世界にはさまざまな夢をもつ同年代の子どもがいることに気づき、これまでの外国語活動の学習を生かして、相手意識を持って自分の夢を紹介することができる。

(4) 展開

展 開	児童の活動	学級担任・ALTの活動	指導上の留意点 ◎評価 ☑は金銭教育の視点
導 入 10 分	・あいさつをする。 Let's start English class. Let's start. Hello, I'm fine/so-so/hungry. It's Thursday. It's November 13th. It's sunny/rainy/cloudy.	・日にち、曜日、天気、気分などについて児童と話す。 Hello, how are you? What is the day/date today? How is the wether?	・これから授業が始まることを意識させる。
	・[C] 「What do you want to be ?」 teacher/singer/doctor/cook/farmer/florist/baker.	・絵カードを見せながら一緒に歌う。	・別の職業に替えて歌うことで、児童が飽きずにチャンツが言えるようにする。
	・本時の課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">友だちに自分の夢を伝えよう</div>		・これまでの学習や世界の子どもたちの夢についても、振り返る。
展 開 25 分	・世界の友だち Part 4	・世界の同世代の子どもたちの夢を紹介する。	☑厳しい環境の中で一生懸命に生活している子どもたちについて紹介し、自分の夢や環境と比較させる。
	・[A] グループになり、一人ずつ「夢宣言」をする。	・机間巡視をしながら、発表を支援する。	・相手意識をもって自分の夢を紹介できるようにする。

			<ul style="list-style-type: none"> ・友だちの発表に対して，質問したり感想を伝えたりさせる。 ◎相手意識をもって自分の夢を紹介している。 【コ】＜行動観察＞
ま と め 10 分	<ul style="list-style-type: none"> ・学習をふり返り，考えたことをワークシートにまとめる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・世界の子どもたちの様子から，考えたことをワークシートにまとめさせる。 ◎世界にはさまざまな夢をもつ同年代の子どもがいることに気づいている。 【気】＜行動観察・ワークシート＞
	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする。 Let's finish English class. Let's finish. See you. 	<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつをする。 Let's finish. Good-bye. See you. 	

(5) 本時の評価

- ・これまでの外国語活動の学習を生かして，相手意識をもって自分の夢を紹介している。【コ】＜行動観察＞
- ・世界にはさまざまな夢をもつ同年代の子どもがいることに気づいている。【気】＜行動観察・ワークシート＞

Hi, friends ! 2 ワークシート

Lesson 8 What do you want to be ?

「友だちに自分の夢を伝えよう」

name ()

☆ 「夢宣言」 シナリオ !!

○将来の夢 (やってみたいこと) は・・・?

I want to be a

○なぜ?①

○なぜ?②

○なぜ?③

○最後に、一言。

Hi, friends ! 2 ワークシート

Lesson 8 What do you want to be ?

「友だちに自分の夢を伝えよう」

name ()

☆世界の子どもたちの生活や夢を知って考えたこと

なんでも memo

you can write here anything ...